

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

Vol.2

2017.8.1

Rotary International District 2690 《2017-2018》



2017-2018年度
国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2017-2018年度地区ガバナー

池上 正

Contents

- 2…………… 地区ガバナーメッセージ
- 3…………… 会員増強 ー新たな挑戦をー
- 4～6……… 地区担当委員長挨拶
- 7…………… 地区委員会便り
- 8…………… 長期青少年交換学生募集



【水島ガス球形ホルダー】
環境に優しい天然ガスを
エリアに向けて供給しています。
〈写真提供：水島ガス株式会社〉





アトランタ国際大会に参加して

2017-18年度地区ガバナー
池上 正



2016-2017年度の国際大会は米国アトランタで6月11日から14日まで開催されました。アトランタといえばすぐに思いつくのは世界的ベストセラー小説「風と共に去りぬ」の著者：マーガレット・ミッチェルです。もう一人重要な人物がおります。公民権運動の偉大な指導者でノーベル平和賞を受賞し、凶弾に倒れたマーチン・ルーサー・キングジュニア（キング牧師）、12歳まで過ごした地域で、歴史地区として保存されています。

到着した6月10日の夜、庄司ガバナー主催の地区ナイトには2690地区から渡辺元RI理事をはじめ約50名が参加し、郊外の瀟洒なレストランで楽しいひと時を過ごしました。

翌6月11日早朝の日本人親善朝食会には斎藤RI理事、渡辺元RI理事、小沢元RI理事など800人が参加し盛大に執り行われました。ジョン・ジャーム会長の挨拶があり、会費1万円は高いと思われましたが、その一部が財団と米山記念奨学会に寄付されました。

アトランタ国際大会には4万人の参加があり、日本からは2500人が出かけております。開会式では各国国旗入場続き、ジョン・ジャームRI会長、ジョージア州知事、アトランタ市長の歓迎挨拶がありました。

大会はポリオで始まりポリオで終わるという印象を強くしました。開催前から注目されていたビル・ゲイツ氏の講演には2万人聴衆が集まり、大変な熱狂の中で行われました。氏はロータリーのポリオ撲滅活動の歴史に言及し、ロータリアンの偉大な業績を称賛しました。功労者として日本の関場慶博氏もその一人として紹介されました。常在国での工夫として部族長との交渉、住民の理解、正確な地図に基づく活動などが解説され、ポリオ撲滅の手法は他の感染症にも適用できるとして、エボラ、HIVなどの例を挙げました。この日（6月12日）各国政府によるポリオ撲滅支援の誓約がビル・ゲイツ氏の出席の中でなされたこともトピックスとして紹介されました。この取り決めには渡辺元RI理事もかかわっています。各国政府代表が壇上で紹介され、ポリオ資金は総額12億ドルになりました。日本からは5500万ドルで安倍首相の動画メッセージが会場で紹介されました。

もう一人ポリオ大使のジャック・ニコラスが登壇しました。彼は13歳の時ポリオに感染しましたが、幸いにして大事に至りませんでした。しかし彼から感染した姉の足に障害

が残ったようです。「帝王」と呼ばれたゴルフ界の巨人が「ゴルフはお金にはなったけれど単なるスポーツにすぎない」とポリオ撲滅のようなロータリーの活動と比較し述べたのに聴衆には大きな感動が巻き起こりました。

最終日（6月14日）には表彰式、各種選挙、ロータリー財団講演などが行われました。私はガバナーエレクトとして選挙人に認定され参加しました。表彰はロータリー学友世界奉仕賞として緒方貞子氏が表彰されビデオで生い立ちと国連高等弁務官までの業績が紹介されました。2017-18年度RI理事、同ロータリー財団管理委員、地区ガバナーノミニーの選挙があり末長2690地区ガバナーノミニーも選出されました。最後に2017-18年度RI会長ノミニーにサム・F・オオリ氏（ウガンダ）が選出され受託演説がありました。アフリカ出身二人目のRI会長となる方、誠実でスマートな印象でした。

2017-2018年度の国際大会はカナダのトロントで2018年6月24日-27日に開催されます。近くにはナイアガラ瀑布など魅力いっぱいです。すでに申し込みを受け付けています。是非多数の参加を期待しております。





会員増強 —新たな挑戦を—

地区ガバナーエレクト

末長 範彦 (岡山RC)

ロータリーの新年度が始まり既に1か月が経過し、各クラブ会長・幹事の方々をはじめとして、新年度体制でご活躍と思います。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

池上正地区ガバナーは、2017-18年度の第2690地区最重要課題を「会員増強」に設定され、各クラブ3%増強を目標とされています。

具体的には、現メンバーが33人以下のクラブは1人、66人以下は2人、100人以下は3人、133人以下は4人、166人以下は5人、200人以下は6人の純増で目標達成となります。

ところで年度変わりの人数とクラブ請求書的人数カウント変更の連絡が、2017年5月18日にありました。

ロータリークラブA	ロータリークラブB
2017年6月30日:60名	2017年6月30日:40名
2017年7月1日:15名の新会員(この15名分は、2017年7月1日の年度開始時の会員数には算入されません)	2017年7月1日:12名が退会(この12名分は、2017年7月1日の年度開始時の会員数から差し引かれます)
2017年7月1日の年度開始時の会員数:60名	2017年7月1日の年度開始時の会員数:28名
2017年7月のクラブ請求書の数:75名	2017年7月のクラブ請求書の数:28名

上記の変更により、各年度の会員増強の達成が正確に世界統一された記録となります。

さて、2017年5月21日(日)開催された次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーで、池上正地区ガバナーと同期のガバナーとなられた第2840地区高崎ロータリークラブの田中久夫様に、「1年で51名を純増したクラブの例」のタイトルでご講演をいただきました。目からうろこ、いや目が飛び出るような驚愕の講演でした。田中久夫様は、入会16年目の2014-15年度に高崎ロータリークラブの会長をされました。入会時100名いた会員は漸減していましたが、会長の1年間で年度初め64名(女性0)、純増51名(女性7)、年度末115名(女性7)と驚異的成果をあげられました。

大切なことは新会員の口から「この会楽しいよ!」「君も入ろうよ」というセリフが出るような明るい楽しい会で人脈が拡大するようなクラブに変革させたということです。ただ昼飯を食べるだけのクラブにしないこと。

これらは、**現会員の退会防止**にも通じ純増も効率的になるわけです。

具体的な対策の一部を紹介します、

● 楽しい例会等の工夫

- ・例会の着席場所を毎週、抽選にしたこと
- ・点鐘前に握手タイムを設けたこと
- ・クラブ内にもう一つの非公式の仲良しクラブを作ること
- ・趣味が同じ者で集う部活を創設した
- ・他クラブとの夜間交流会をした

● 毎月開催した会員増強会議

- ・人脈豊富な若手を会議のメンバーに人選
- ・各人が入会の可能性がある候補者をリストアップ
- ・その場で電話攻勢し、訪問アポも取る
- ・翌日、戸別訪問・入会契約完了
- ・時間を与えると断られる可能性が高まる

● 会長の本気度を示そう

- ・毎回の例会・会合にて常に増強の話をする
- ・一度断られた人へのアプローチを何度も実施する
- ・常に数値目標を言う、「誰かいらないか?」を口癖にする
- ・決してへこまない、長い目で会員にする自信
- ・難しい人へは会長か幹事が付き添って説明・攻略
- ・クラブ内の抵抗勢力には会長が悪者に

● 会員増強に必要なのは

- ・若者 よく動いて活気に満ちた人
増強担当者の若返り=ターゲット層
 - ・バカ者 常識にとらわれず新鮮で突飛な発想をする人
会長の役割です
周りの眼を気にしないstrong willを
 - ・よそ者 異なった視点から物事を見られる人(新入会員)
新入会員の新しい人脈
期待に応えるためにクラブの活動の見直し
最後に、会長・幹事・担当委員長は、本気で即座に実行しあきらめない。1年間は会員増強に邁進しましょう。
- 以上が講演の半分ほどの項目です。それぞれのクラブの状況を分析し、会員増強に取り組まなければ将来は困難だと思います。今までと同じ考え、同じやり方では答えは変わらないと思いました。

地区担当委員長挨拶

地区資金委員会委員長

若狭 弘郎



心よりお願い申し上げます。

現今の日本、いや世界の経済は、今の梅雨の如く降りず降らずみ...と、まことにうつつしい情勢ではあります。この時にあたり、ご自分の企業の運営に粉骨砕身されている会員の皆様に、このガバナー年度へのご支援・ご協力をお願いするのは、まことに心苦しいことでありますが、能うる限り効率化を推進することで、皆様のご負担を軽減するように努める所存であります。

されど、厳しい地区財政にとって、会員の増強こそが何よりの収入増であることは論を待たずでもありません。どうかその点のご協力のほど、皆様に

地区会員増強・会員選考・職業分類委員会委員長

永井 圭子



の増強委員長は、このときのお話を思い出しながら増強に努めていただきたいと思います。

ロータリーに入会してから退会を防ぐためにも、ロータリーの活動を仲間で楽しめるようなクラブにする環境作りも考えてまいりたいと思います。

本年度、第2690地区 池上ガバナーは、地区の最重要課題として「会員増強」を設定されました。これを受け、会員増強委員会といたしましても、会員増強に力を入れてまいります。特に、活力のある若い会員、女性会員の増強を推進してまいります。地区として3%の増員を指標とさせて頂いております。

5月に開催されました会員増強・ロータリー財団合同セミナーでは第2840地区から田中久夫ガバナー(当時はガバナーエレクト)を講師としてお迎えし、増強のご講演をしていただきました。各クラブ

地区雑誌・広報委員会委員長

奥本 寛



発表をお願いする予定ですので、皆様の活発な意見交換を期待しております。

ロータリークラブの認知度を上げ、地区の各クラブが行っているたくさんの取り組みに、一般の方々の理解と支援をいただくことが、使命の一つでしょう。ロータリアンには、「ロータリーの友」を介して活動内容が周知されますが、他の方々の目にもクラブの姿が正しく届くように工夫していきたいものです。活字の広報活動においても、雑誌頒布で完結するのではなく、ICT広報活動を同時進行させることは当然のことです。

より効果的な広報活動について、夏の地区クラブ雑誌・広報委員長会議では、講演とともに、事例

地区職業奉仕委員会委員長

藤木 達夫



職業奉仕は、他団体には見られないロータリークラブならではの活動です。そのうえ所在地などによるクラブの特徴や会員の職業の多岐にわたる幅広さは、ロータリークラブならではの特徴といえるでしょう。

地区内各クラブの職業奉仕活動を幅広く共有することが、よりよい職業奉仕のための参考になるものと考えています。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

地区社会奉仕・RCC委員会委員長

三宅 典一



社会奉仕活動は、地域におけるニーズを把握し、会員全員とその地域の人々の理解と協力があって実を結ぶものと思います。会員の皆様には、クラブ一丸となって実践いただきますようお願い申し上げます。

先日地区研修・協議会において、各クラブにおかれましての長年にわたる継続事業、また、新しいニーズにおける新規活動と地域に合った社会奉仕活動は、地域社会への貢献と同時にロータリーに対するイメージの向上にも役立っているものと思います。

また、現状において、地区資金の活用(特にグローバル補助金)あるいはロータリー地域社会共同隊(RCC)の発足・活動などはいまだ少なく、今後の課題かと思っております。

また、現状において、地区資金の活用(特にグローバル補助金)あるいはロータリー地域社会共同隊(RCC)の発足・活動などはいまだ少なく、今後の課題かと思っております。

地区国際奉仕委員会委員長

久保田 祥之



実践に向けて、各クラブの皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ロータリーの奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成ります。

社会奉仕と比較すると、クラブ間で活動に濃淡がある難しい部門だと認識しているものの、各クラブにおいて趣向を凝らした様々な活動を行っていただいております。より活発な国際奉仕活動の実

地区担当委員長挨拶

地区米山記念奨学委員会委員長

佐藤 正浩



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、1952年東京ロータリークラブ米山梅吉氏の功績を称え、構想を立案し始めました。海外から優秀な留学生を日本に招き、勉学を支援する目的で設立された民間最大の団体です。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンたちの強い願いが込められています。

今年度は24名の奨学生を受け入れる予定になっております。世話クラブおよびカウンセラーの方々だけでなく、会員の皆様にも大きなご負担をおかけすることとは思いますが、全力を尽くして優秀な奨学生を採用していきたいと考えております。また将来、奨学生たちが彼らの母国と日本を結ぶ架け橋となってくれることを願っております。

地区青少年交換委員会委員長

和田 一郎



2017-2018年度もいよいよスタートの時期を迎えました。私はRI第2690地区青少年交換委員長を拝命いたしました倉敷南ロータリークラブの和田と申します。

皆様ご承知のとおりこの青少年交換プログラムはロータリーのプログラムの中でも重要な位置づけであることは言うまでもありませんが、各クラブの理解度の温度差はかなりのものがあると承知をいたしております。この事業は15歳から18歳の学生を1年間交換留学していただき、異文化や習慣に触れることとコミュニケーション能力を養っていたくことによって、世界に対する広い視野を身につけていただき、世界平和の為に貢献できる人づくりを目指しています。『小さな親善大使』とも呼ばれる意義ある重要な事業でありますので、各クラブにおかれましてはこの事業に対するご理解をぜひとも深めていただきますようお願い申し上げます。

ロータリークラブが全面支援することは勿論ですが、交換留学生の安全や健康や学生生活での支援をしていかなければなりません。現在も世界80か国で8000人を超える学生が参加をしています。このプログラムを成功裏に納めたいと思い、地区委員長という重責をどのように果たしていくか、身の引き締まる思いがしております。皆様方の温かいご支援やご指導をぜひともよろしくお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員会委員長

樋口 順一



青少年奉仕は2010年の規定審議会で新世代奉仕として5番目の奉仕部門となり、2013年の規定審議会で青少年奉仕と改称されました。5大奉仕の中で最も新しいので馴染みは薄いかもしれませんが、今後のロータリークラブにとって重要な部門であることは間違いありません。

R.Y.L.A(ロータリー青少年指導者育成プログラム)などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てていきたいと思っております。

また、今年度、池上ガバナーは危機管理にも重きを置いておられますのでそれも念頭に置いておきます。地域社会奉仕にリーダーシップを発揮できる青少年を育成する為に皆様のご協力とご参加をお待ちしております。

地区インターアクト委員会委員長

三牧 博史



インターアクトクラブとは、ロータリークラブにより提唱された12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブで、楽しく意義のある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。

インターアクターは奉仕活動を通じて次の事柄の重要性を学びます。

- 1) 指導力と優れた人格の育成
- 2) 他者を尊敬し、進んで助ける態度
- 3) 各自の責任を果たすことや、一生懸命努力することの価値の理解
- 4) 国際理解と親善の推進

今年度は7月に鳥取県大山で1泊2日の地区大会を開催致します。各地のインターアクターが集まり交流を深め活発に意見交換を行います。インターアクトの発展のためロータリアン皆様のご支援ご指導の程宜しくお願い致します。

地区ローターアクト委員会委員長

柳楽 克人



ローターアクトとは、18歳から30歳までの青年男女の集まりです。その目的は、ロータリーの精神を習得させ、ロータリー活動を通して将来の地域社会の指導者を育成しようとするものです。地元のロータリークラブに提唱され、指針とサポートを受け、それぞれ自立して運営され、資金面でも独立しています。

しかし、会員の減少、クラブの消滅など課題は多く、我々ロータリークラブも「奉仕のパートナー」として、ローターアクトクラブへの関心を深め、協力し、より一層の関わりを持って、共に発展したいと思っております。

思います。

皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い致します。



地区担当委員長挨拶

地区学友委員会委員長

坂本 一昭



若者達に関わる事は素敵な行為であり、ロータリークラブの存在意義の1つであると考えます。

この度学友委員長をさせて頂き坂本で御座います。当委員会の仕事、意義、進行等々これから勉強して行きたいと思っています。

今年3月に次年度委員長予定者として参加させて頂いた学友候補者選考会で、素晴らしい優秀な若者達に正直驚きました。もしかして…もしかして…今から10年後…30年後?我々が選考した彼が、彼女が、この地に…この国に…人々に…何か素晴らしい事を成し遂げる事があって、そのきっかけはロータリークラブの学友に選考された事から…と期待しております。前向きに何事かを為さんとする

地区補助金小委員会委員長

森 彰



我々小委員会の仕事は、申請を却下することではなく、地区補助金を活用していただくことのお手伝いが仕事だと思っています。どうぞよろしくお願いします。

今年度地区補助金小委員会委員長を務めます倉敷南RCの森彰と申します。今年度は地区補助金申請を27件いただきました。ありがとうございました。プロジェクトが地域への貢献ということだけではなく、クラブの一体化や活性化に寄与されることも期待しております。

また、ロータリークラブの公共イメージの増進のためにも、マスコミ等への積極的な広報をお願いいたします。地区補助金プロジェクトの活用を行っていないクラブにおいても、是非、来年度は申請をご検討下さい。

地区職業研修チーム小委員会委員長

井上 数馬



当地区では、あまり馴染みがない委員会のようですが、是非、海外の共同提唱者を探して挑戦したいものです。

職業研修チーム小委員会(VTT)とは、専門職業人のグループが海外に赴き、技術や知識を学んだり、現地の専門職業人に、技術や知識を提供したりするものです。

2か国のロータリークラブ又は地区が提唱者となり、ロータリアンとロータリアン以外の人からなるチーム構成を地区が認定して、実施いたします。

また、地区補助金やグローバル補助金を使うこともできますし、1件の補助金で複数の職業研修チームを派遣することもできます。

当地区では、あまり馴染みがない委員会のよう

地区ロータリー財団資金推進小委員会委員長

瀧田 章信



支援を賜るよう推進していきますので、よろしくお願い申し上げます。

池上地区ガバナーの地区目標のロータリー戦略計画の優先項目の推進は、

「ポリオ撲滅への協力」ポリオプラスへの寄付30米ドル/人

「ロータリー財団への支援」年次基金への寄付150米ドル/人

「ロータリーカード普及への協力」普及率40%

「米山記念奨学会への支援」普通寄付5,000円/人 特別寄付10,000円/人です。

地区資金推進小委員会として、地区目標達成のために各クラブの会員の皆様方のご理解とご

地区ロータリー財団資金管理小委員会委員長

金森 秀子



財団資金管理小委員会は補助金の管理を徹底させ、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。

他の関連委員会と連携し、地区補助金の申請、支払い、報告のそれぞれの段階において、財務管理計画の作成。地区の覚書の実施の援助。補助金管理セミナーの実施。クラブの参加資格認定の援助。モニタリング、評価。財務管理計画の年次財務評価を行いクラブに通知する。などの役割を担っています。

皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

地区ポリオプラス小委員会委員長

原 真章



皆様の「Take Action」をおねがいします。

1985年、RIはポリオ撲滅へのプログラムを発表。1988年にはWHO、unicef、ビル&メリンダ・ゲイツ財団等と共に、世界ポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)を開始しました。1988年には125か国以上の常在国、35万人の患者がいましたが、2017年6月現在99.9%の減少、野生株の発症はアフガニスタン、パキスタンの2か国、6例となっています。ポリオ撲滅まで後少となりました。しかし著名な研究者は「此処で手を緩め、ポリオ株を根絶してしまわねば、再び大流行する」と警告しています。

世界の子供たちの未来のために、2017-18年度をポリオ発症の最後の年にするために、END POLIO NOW。



地区委員会便り

危機管理委員会より

危機管理についてRIも重要視しておりますし、最近の社会情勢を見ましても、何時我が身に降りかかってくるかわかりません。そのような状況を危惧された池上 正地区ガバナーは、ガバナーエレクト就任時より地区危機管理委員会の見直しに取り組んでこられました。その手始めとして、地区危機管理委員会規程の改定を行いました。これまで、委員長はガバナー補佐となっておりましたが、委員会の重要性から考え、委員長をパストガバナーとすることとしました。そして、2017-18年度の委員長に庄司尚史直前ガバナーにご就任いただくことになりました。

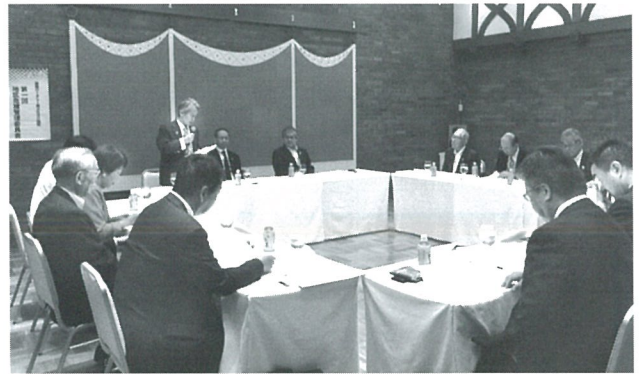
そして、第1回地区危機管理委員会を6月3日(土)倉敷アイビースクエアにおいて、開催されました。

当日は、庄司尚史委員長の挨拶で開会しました。その後、国際ロータリー日本青少年交換委員会 研修部門委員 間石成人先生に「青少年活動プログラムと危機管理～青少年交換を中心に～」と題してご講演を頂戴いたしました。ご講演では、危機管理についての基本的な説明にはじまり、RIと危機管理の問題についてのこれまでの流れの説明をお聞きした上で、その後、事例をあげられ、具体的な対処方法についてアドバイスをいただきました。委員からも、新年度の活動を前にして活発な質疑応答

がかわされました。

この度、委員会を開催し、危機管理についての最新の情報を得られ、委員相互の意識改革につながったことと思います。備えあれば憂いなし。そのための委員会であればと考えます。今年度終わりには、次年度の委員との合同での委員会を開催できればと考えております。

地区代表幹事 廣本 孝良



米山記念奨学委員会より

平成29年6月25日に国際ロータリー第2690地区米山指定校選定委員会および地区米山記念奨学委員会がとり行われました。

本年度は前年度よりも奨学生枠が減少しており、募集枠の削減が討論されました。各校に対し苦渋の選択で募集枠の削減を審議致しました。奨学生の人数は寄付額に依存しており、今後の寄付増強が望まれるところです。

その他には奨学期間についての審議が行われ、地区独自のロータリー米山奨学生選考の目安についても協議されました。

その後続いて行われた地区米山記念奨学委員会では、地区目標について協議されました。

地区米山記念奨学委員長 佐藤 正浩



月信出版・HP管理委員会より

ガバナーHP スマートフォンサイト開設のお知らせ

このたび、スマートフォンサイトを開設いたしました。ぜひご利用下さい。

■アクセス方法

- 検索サイトからアクセスされる場合
→ YahooやGoogleから「国際ロータリー 池上 正」で検索してください。
- URLを入力される場合
→ <http://2017.rid2690.gr.jp/> とご入力ください。
- 右記のQRコードをバーコードアプリで読み取ってください。



月信出版・HP管理委員長 若狭 宏則

歴代ガバナー デジタルアーカイブのご案内

2010年以降の第2690地区
歴代ガバナーのHPが閲覧できます。
「国際ロータリー第2690地区」で検索。

国際ロータリー第2690地区 検索

玉野ロータリークラブより例会場のご連絡

- 4月～9月：瀬戸内温泉 たまの湯
- 10月～3月：瀬戸大橋カントリークラブでの開催となります。

7月号(Vol.1)の訂正とお詫び

P5組織図 地区補助金小委員会委員
小林 哲→小林 哲 訂正してお詫び申し上げます。

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）

長期青少年交換学生募集

異文化交流を通じて、未知の自分の可能性を発見してみませんか。

実施要項

留学先：アメリカ合衆国、カナダ
留学期間：2018年8月から1年間
募集人数：3名

応募資格

- 1) 2018年8月末時点で、15歳から18歳未満の学生
- 2) 異なる文化を受け入れることができ、新しいことに挑戦する意欲を備えていること
- 3) 学校長の推薦があること
- 4) 保護者の同意があること
- 5) 地元ロータリークラブの推薦があること

応募期限

2017年8月25日(金) ロータリークラブ必着

応募方法

応募ご希望の方は、お近くのロータリークラブ事務所、またはロータリークラブ会員まで、お問い合わせください。

選考方法

書類選考、作文・英語の筆記試験及び面接試験（英会話を含む）
試験日：2017年10月28日(土) 13:00～15:00(予定)
場 所：倉敷アイビースクエア

費用負担

渡航に際しての費用は、派遣学生側の負担。海外での生活費及び通学費は留学先のロータリークラブが負担。

後 援

鳥取県・島根県・岡山県各教育委員会



お問い合わせ

国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会

〒712-8011 倉敷市連島町連島133-1 株式会社丸文内
TEL: 086-476-2690 FAX: 086-476-2660
E-Mail: ikegami-2690@vesta.ocn.ne.jp

ロータリーとは

ロータリーは地域社会のボランティアから成るグローバルネットワークです。さまざまな事業や専門職務のリーダーであるロータリーの会員は、世界中で人道的奉仕活動を行い、職業における高い倫理基準を奨励し、国際親善と平和を築くために尽力しています。非識字、疾病、飢餓、貧困、きれいな水の不足、環境問題と言った課題に取り組むため、世界で35,000を超えるクラブが様々な活動を展開しています。



国際ロータリー第2690地区
池上 正ガバナー事務所

〒712-8011 岡山県倉敷市連島町連島133-1 株式会社丸文 内
TEL: 086-476-2690 FAX: 086-476-2660
E-mail: ikegami-2690@vesta.ocn.ne.jp
HP: <http://2017.rid2690.gr.jp/>